

2018.2.25 日経

観光支援特化ファンド

古民家や旅館再生 250億円

三菱UFJなど

三菱東京UFJ銀行や
積水ハウス、日本航空な
ど60社が4月、古民家再
生や旅館再建など観光支
援に特化した共同ファン
ドを立ち上げる。規模は
国内最大の250億円。
都市部も含め数十億円の
大型案件にも対応するの
が特徴で、拡大が続く訪
日客向けの市場を新しい
ぶ。ファンド組成に先立
ち運営会社を2月末にも
設立する。

収益源に育てる。
三菱UFJや明治安田
生命保険のほか、常陽銀
行、八十二銀行など地銀
約30行が出資。三菱地所
大和不動産鑑定などの不
動産関連も参画する。ホ
テル運営や人材派遣会社
20社強は助言者としてフ
アンドと支援契約を結
ぶ。ファンド組成に先立
ち運営会社を2月末にも
設立する。

主な投資先に想定する
のは宿泊施設や観光関連
のベンチャー企業だ。ホ
テルや旅館の老朽化に伴
う建て替えや改装、古民
家再生などの観光ビジネ
スは長期的にも拡大する
との見方が強い。

今年6月に条件付き解
禁の法律が施行され、市
場の成長が見込まれる
民泊も投資の検討対象に
なりそうだ。後継者難な
どで事業承継に困った旅
館の支援なども検討す
る。

ファンド運営期間は10
年間で目標とするリター
ンは年6%程度。1件ご
との出資額は数千万円か
ら最大で50億円とする。

ファンド自体の規模は2
50億円だが、銀行から
の融資も合わせると事業
規模は総額1000億円
程度になる見通しだ。